

平成 23 年度臭気モニタリング結果について

1 目的

現在問題となっている悪臭公害について、悪臭公害の実態を把握することにより、原因事業所（養豚事業所及び堆肥製造事業所）への指導の充実を図り、悪臭問題の早期解決に資することを目的としています。

2 モニタリング方法

- (1) H23. 6. 6～H23. 10. 30 までの期間において、1 日 1 回以上臭気を調査し、調査時刻、風向き、風の強さ及び次に示す臭気強度の状況を「調査票」に記入し、諸事情により調査できない日があった場合は、欠測としました。
- (2) 調査時刻は、これまで悪臭を感じた時間帯を勘案するなど、各自の判断に委ねることとしました。
- (3) 調査回数は、1 日に 1 回以上であれば、何回実施しても構わないこととしました。
- (4) 調査報告は、記入した「調査票」を 1 週間分（月～日曜日）まとめて、市へ報告することとしました。

< 3段階臭気強度表示 >

臭気強度	内容
0	無臭
1	臭う
2	強く臭う

※臭気強度の前に、臭いの種別（M＝養豚事業所、S＝堆肥製造事業所、W＝両者、X＝不明）を表記

3 総括

今回のモニタリングは、延べ 23 名の方の御協力をいただき、6 月 6 日から 10 月 30 日までの期間で実施したところです。

モニタリングは、臭気確認時刻が一定でないこと、欠測があること、モニターの感覚により臭気の強度が変わることがあるものの、臭気のおおよその拡散状況を把握することができるため、原因事業所による悪臭対策の改善状況や悪臭苦情との整合を図ることができ、貴重なデータとなりました。

養豚事業所からの臭気は、南原地区を中心に事業所の近隣地域には高い頻度・強度で臭気が漂っており、加えて芳泉町や通町にかけた松川沿いの地域にも臭気が漂っていることが分かります。また、臭気が感知される時間帯は、朝・夜間が多い傾向にあることが分かります。

一方、堆肥製造事業所からの臭気は、南原地区を中心に事業所の近隣地域には高い頻度・強度で臭気が漂っており、遠方に臭気が漂うこともあることが分かります。また、臭気が感知される時間帯は、昼間が多い傾向にあることが分かります。

この結果から、両事業所からの臭気は、事業者による改善措置により頻度・強度ともに改善傾向にあるものの、依然として市の南部を中心に強い臭気が漂っている状況であることが分かります。このことは、悪臭苦情と整合しており、市としては、引続き臭気の拡散状況を監視するとともに、原因調査と更なる臭気対策が必要と考えております。